

令和3年度 事業報告書

本法人の目的である失明原因の解明と失明の予防並びにウイルス眼炎その他の眼感染症の予防及び研究に対して助成を行うほか、公益目的を達成するために必要な事業を行ってきた。令和3年(2021年)も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対応し、失明予防に関する公益事業を遂行することができた。

1. 一般研究助成(公募)事業

令和3年度の一般研究助成事業の募集は令和3年3月24日から公募を開始し、7月31日に応募を締め切り。個人研究7件、共同研究2件の申請を受理。

研究助成選考委員会の審査結果を受けて理事会で決議、承認された次の研究課題について助成を行った。

「網膜器官培養法を用いた糖尿病網膜症の病態解明」

福 嶋 葉 子 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学特任講師)

2. 特定研究助成(公募)事業

実施するための寄附金が集まらず、本年度は助成を行わなかった。

3. 国際協力助成事業

1) 留学研究助成(非公募)

外国、主として東南アジア諸国から日本に短期留学する眼科医に対して研究助成を行っている。本年度は3名の申請を受理。厳正な審査を経て理事会で承認され、本年度は次の1名に対して助成を行った。

Wu, Huajui (Catholic Fugen 大学 Occupational Therapy〈中華民国台湾省〉)

受入先: 福島県立医科大学大学院医学研究科博士課程医学専攻

2) ワークショップ助成(非公募)

インターカントリー失明予防ワークショップは、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の状況を踏まえ本年度も開催されず助成を行わなかった。

3) WHO 提唱の Universal Eye Health 活動に全面的に協力しているところであり、引き続き国際失明予防協力機構(IAPB)及びWHOとの連携のもとに、国際失明予防事業推進に協力している。

4. 学会等研究助成(非公募)

コロナ禍により申請がなく、本年度は助成を行わなかった。

5. 失明予防に関する啓発事業(非公募)

一般の人を対象とした目に関する正しい知識を啓発するパンフレット「チェック&チェック〈Part49〉」を6月発行。今年度からポスター(掲示用データ)も新たに加えて制作し、2種のデータをHPに掲載している。この掲示用データを小学校等に広く活用してもらうように、都道府県教育委員会(67か所)に「チェック&チェック〈Part49〉」パンフレットを2,345部配布し、データをダウンロードしてポスター掲示を啓発した。

会報「失明予防 Vol.34」を12月発行。会員及び関係団体に配布した。

6. 「目の愛護デー」行事への協賛・後援

1) 厚生労働省主催の「目の愛護デー」行事への協賛

視覚障害、感染症眼疾患、生活習慣病による眼疾患等に対する予防意識の高揚を図

るとともに、眼疾患の早期発見、治療等目の衛生に関する注意を喚起し、公衆衛生の向上を図るというもので、10月10日を「目の愛護デー」として主催する厚生労働省及び日本眼科医会の協賛要請を受入れ、協力した。

- 2) 都道府県眼科医会主催の「目の健康講座」行事を後援した。各開催会場に「チェック&チェック〈Part49〉」を配布予定であったが、コロナ禍でWEB配信や新聞掲載等の形式で開催した都道府県眼科医会への配布は見送ることとなった。

10月3日 群馬県眼科医会 「目の健康講座」(太田市市民会館)会場へ「チェック&チェック〈Part49〉」を600部、「チェック&チェック〈Part48〉」を1,200部提供した。

- 3) 10月10～11日 東京都眼科医会主催の「Tokyo Eye Festival 2021」行事を後援し、「チェック&チェック〈Part49〉」を100部提供した。

- 4) 愛媛県眼科医会主催の「目のこと何でも電話相談」行事を後援した。

- 5) 9月18日 社会福祉法人 東京光の家 「愛のサウンドフェスティバル」会場へ「チェック&チェック〈Part49〉」を50部提供した。

- 6) 精神障がい者支援事業(使途指定寄附金拠出事業)(非公募)

令和2年度遺贈(故 家城しづ子氏)寄附金は、精神障がい者の救済に役立てることを目的とし、精神障がい者の失明予防及び眼疾患についての予防及び知識や、地域における障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスに役立ててもらうため、啓発冊子「チェック&チェック〈Part49〉」を精神保健福祉センター(69か所)に1,380部発送し、事業費として、170,000円を支出した。

7. 募金活動

本協会は、税法上の「特定公益増進法人」の認定を受けており、公益事業遂行のために募金活動を行った結果、日本国内コロナ禍の状況にありながらも、会員各位から募金の趣意にご賛同いただき、次のとおり寄附を受けた。

なお、留学研究助成事業に対しての募金活動は、令和2年度留学研究助成の助成辞退(新型コロナウイルス感染症の拡大により助成者の来日が不可能となり大学院を退学)により、返却された助成金を令和3年度に使用することを理事会で承認。

外国留学眼科医の会各位にはその旨報告し、今年度の募金活動は行わないこととした。

寄附件数合計117件、寄附金総額は 6,086,791円 となっている。

(ホームページ上にご芳名掲載許可の寄附者のみ記載。)

- 1) 一般寄附 募金箱設置協力先(敬称略)

東京都眼科医会 アイフェスティバル会場(東京都)

医療法人社団達洋会杉田眼科(東京都)

医療法人社団江山会 江口眼科病院(北海道)

佐野眼科医院(東京都)

- 2) 一般寄附 法人(敬称略)

参天製薬株式会社

株式会社オフテクス

株式会社シード

千寿製薬株式会社

東海光学株式会社

株式会社ニコン・エシロール

日東メディック株式会社

HOYA株式会社

株式会社メニコン

株式会社リッツメディカル

大河実業株式会社	公益社団法人日本眼鏡技術者協会
公益財団法人日本テレビ小嶋文化事業団	社会福祉法人読売光と愛の事業団
医療法人湘山会 眼科三宅病院	医療法人弘鳳会 おぐりクリニック
医療法人社団同潤会 眼科杉田病院	医療法人ささもと眼科クリニック
医療法人 木村眼科医院(福岡県)	医療法人一樹会 浅野眼科クリニック
医療法人社団明光会鈴木眼科	医療法人社団 海 仁 海谷眼科
医療法人社団 たかの眼科	医療法人博友会 原眼科医院
医療法人民蘇堂 あかしの野中眼科	医療法人出田会 出田眼科病院
医療法人明世社 白井病院	医療法人社団 真医会
神奈川県眼科医会	千葉県眼科医会
岐阜県眼科医会	愛媛県眼科医会

3) 一般寄附 個人(敬称略)

松村 美代	藤原 紀男	今泉 信一郎	庄司 信行	三嶋 弘
吉富 健志	川野 晃嗣	新家 眞	岡田 裕義	村上 晶
内田 明	原田 範子	田中 浩	塩田 洋	駒井 潔
山之内 宏一	鍋島 種信	箕田 健生	黒川 明	木村肇二郎
古田 節子	宇多 重員	福永 博一	濱崎 陞	市川 一夫
繪野 尚子	水鳥川 俊夫	大津 敬一朗	大石 文恵	臼井 正彦
桑原 洋子	向野 和雄	大塚 宏之	鈴間 潔	今野 信太郎
箕田 健生	市川 一夫	登坂 健二郎	北沢 博之	

名古屋大学医学部眼科学教室

8. 会員の増強対策

本協会の公益事業の遂行ために、正会員(個人会員、法人会員)の継続的な協力が必要であり、関係各方面に対して入会要請を行った。令和3年度の会員は次のとおり。

法人会員 35法人 (敬称略)

有限会社あけぼのえるむ薬局	アールイーメディカル株式会社
大塚製薬株式会社	株式会社オフテクス
医療法人社団 海仁	カールツァイスメディテック株式会社
キッセイ薬品工業株式会社	株式会社サンコンタクトレンズ
参天製薬株式会社	株式会社シード
千寿製薬株式会社	ジャパンフォーカス株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	株式会社TAX
東海光学株式会社	社会福祉法人 東京光の家
株式会社トプコン	株式会社ニコン・エシロール
株式会社ニデック	日東メディック株式会社
医療法人慈融会二宮眼科医院	日本アルコン株式会社
一般社団法人日本眼科医療機器協会	公益社団法人日本眼科手術学会
公益社団法人日本眼鏡技術者協会	日本眼鏡販売店連合会
公益財団法人日本テレビ小嶋文化事業団	株式会社日本点眼薬研究所

株式会社日本ルミナス
HOYA株式会社
メディックスホールディングス株式会社
わかもと製薬株式会社

医療法人博友会原眼科医院
ボシュロム・ジャパン株式会社
株式会社メニコン

個人会員は688名となっている。

9. 補助金

次の団体から、本年度も補助金の協力を受けた。(敬称略)

公益社団法人日本眼科医会 公益財団法人日本眼科学会
公益社団法人東京都眼科医会

10. 評議員会及び理事会

本年度の評議員会及び理事会を開催は次のとおりである。

なお、日本国内における新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、当初予定していた評議員会及び理事会に招集せず書面による決議省略を用いた。

○ 評議員会

定 時 令和 3年 6月10日

- ・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度財務諸表について
- ・評議員の選任について
- ・理事・監事の選任について

報 告 令和 4年 3月29日

- ・令和4年度事業計画及び収支予算書について送付

○ 理事会

第1回 令和 3年 5月20日

- ・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度財務諸表について
- ・定時評議員会の開催の変更について

第2回 令和 3年 6月10日

- ・代表理事、業務執行理事選定について

第3回 令和 3年 9月21日

- ・令和2年度留学研究助成者の留学の中止について
- ・令和3年度留学研究助成者の決定について
- ・理事長及び専務理事からの自己の職務執行状況の報告について

第4回 令和 3年 12月22日

- ・令和3年度一般研究助成の決定について
- ・令和2年度一般研究助成者の助成期間の延長について
- ・理事長及び専務理事からの自己の職務執行状況の報告について

第5回 令和 4年 3月14日

- ・令和4年度事業計画について
- ・令和4年度収支予算について
- ・定時評議員会の開催について

11. 附属明細書の省略

令和3年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する項目がない為省略する。

以 上